

# ハッピー&スマイル

## 39号

発行者  
社会福祉法人楽寿会  
特別養護老人ホーム楽寿荘  
四倉町上仁井田字横川67  
TEL (0246)32-6381



### 何が当たるかな？

平成三十一年一月一日(火)、今年も、恒例の宝くじ大会が行われました。利用者さんが、前もって引いたくじ券を持って、ドキドキしながら始まるのを待っていました。職員が雰囲気盛り上げる中、一階は施設長、二階は職員の根本大輔さんがくじを引き、「〇〇番」と番号を呼ぶたびに、自分の券を確認する利用者や、当たった利用者は大声で「ハイ！」と手をあげたり。もらった後の表情がステキでした。今年も一年、笑顔で皆さんと過ごしたいと思いながら、宝くじ大会は終了しました。



「嬉しい元日になりました！」

「2019年、良い年になりますように」

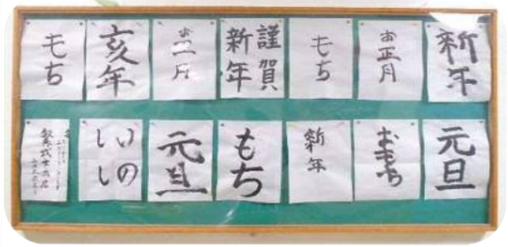
### 初笑い

今年も一月二日と九日の二日間、シヨートステイにて、毎年恒例の書初めが行われました。

利用者さんや職員が、今年の干支『亥』等を中心に、沢山の書初めを行いました。いざ一番気に入った作品を出してもうとうと「もち」や「おもち」を出す方が多く、「こは食いしん坊が多いんだなあ」と笑いが起こり、『福笑い』ならぬ『初笑い』の光景も見られていました。



「達筆な作品ばかりです！」



今年一年、笑顔で元気に過ごし、来年も楽しみにしてもらえたらいいですね。

### いざ、鬼退治！

二月三日(日)、楽寿荘に鬼が現れました。利用者の皆さんには、落花生や一口チョコレート、豆に似せた丸めた色紙を渡しました。「鬼はくそ」と「福はうち」と元気な声を響かせながら豆まきをしました。鬼に扮した職員に気づいたのか、優しく豆をぶつける利用者の皆さんの姿が印象的で、なんとも微笑ましい光景でした。楽しく鬼退治をしてくださった利用者さんの皆様のおかげで、楽寿荘に福が舞い込みました。今年も良い事の多い一年でありますように。



「鬼さん来てくれてありがとう」

「まさに、鬼に金棒！」

### 訪問介護事業所紹介

寒い日が続く、春の便りが待ち遠しい季節ですね。こんにちは、こちらは訪問介護事業所です。

ご存知の方も多いと思いますが、訪問介護サービスは、要支援・要介護認定を受けた方が、住み慣れたご自宅で、その人らしく安心して生活できるように、訪問介護員(ヘルパー)がご自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の介護や、調理・洗濯・掃除等の家事を行うサービスです。

ご本人ができることを尊重し、できないところや負担になっている部分をお手伝いすることで、利用者さん一人ひとりがその人らしく、生き生きとした生活が送れるように支援しています。

また、お昼の配食サービスも行っておりますので、こちらの方もどうぞご利用ください。

これからも、利用者さんから、たくさんのお話を学ばせて頂きながら、サービスと一緒に笑顔も届けられるように心掛けていきたいと思っております。

### 寒さの恩恵

十一月、一階中棟では干し柿作り、また一月には二階西棟で、凍み大根作りが行われました。利用者の皆さんはさすがの手つきで、次々と柿や大根の皮を剥いてくれました。

干し柿や凍み大根のように、寒いからこそできる美味しい物があり、昔の人の知恵を感じる日となりました。



「きれいに剥けました！」

### 木村守和理事長より

今回のハッピー&スマイル39号は今年度最後、そして平成最後の記念に残る新聞となるよう、楽寿会理事長の木村守和先生にもお言葉を頂きました。



木村守和理事長

平成最後の春に、平和について考えましょう

来る平成三十一年四月三十日に今上天皇がご退位され、五月一日には皇太子さまが新天皇となります。

平成天皇は戦地・被災地への訪問など、国民の痛み・苦しみに寄り添う活動を続けてこられました。

四月三十日には公務を午後五時まで務められ、その後国民に向けてお言葉をいただきます。ご高齢でありながら最後まで公務にのぞまれるお姿は、深く胸に迫るものがあります。

平和を希求する天皇陛下の姿勢を忘れず、国民は平和を尊び幸福な社会を築けるよう考えて行動することが大切だと思います。

楽寿会ホームページはこちら



<http://www.rakujukai.co>

